

とっとい赤十字NEWS

1月号



鳥取県支部

海外たすけあいへのご協力ありがとうございました。

12月1日（木）から25日（日）まで『NHK海外たすけあい』キャンペーンを実施いたしました。
キャンペーン期間中、

345万4,213円

のご寄託をいただきました。

寄せられた寄付金は、日本赤十字社を通じ、武力紛争による犠牲者支援、災害被災者支援、保健・衛生分野における支援など事業分野別に配分され、世界中の苦しむ人々のために使われます。

たくさんのご協力、誠にありがとうございました。



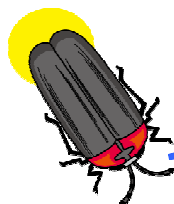
鳥取赤十字病院

「放射線」と「放射能」の違いについて

福島原発事故が起きてからテレビなどで「放射線」と「放射能」という言葉がよく使われるが、『どう違うのか？』とよく聞かれます。

一般に「放射線」は放出されるエネルギー、「放射能」は放射線を出す能力と説明されますが、これについてはホタルを例にした有名な説明があります。

放射線（シーベルト）



放射能（ベクレル）

まず「放射線」はホタルから出る光といわれます。放射線（光）による人体への影響はどの程度か（線量当量）にシーベルトという単位がよく使われています。

そしてその光を出すホタルの能力つまりホタル自身が「放射能」となります。放射能の強さや量を表す単位に「ベクレル」がよく使われています。

放射線（ホタルの光）は特殊なカーテンや壁を作る事により防ぐ事ができます。病院のレントゲン室の様な状況です。しかし放射能（ホタル自身）があちこち外に飛び出しているとそれぞれが放射線を出すので防ぐことは困難です。福島原発はこの状況にあるといえます。

放射線技術課



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

鳥取県赤十字血液センター

いのちと献血俳句コンテスト 表彰者発表

日本赤十字社は、献血を通じて支えられる「生命」の意識向上、献血活動の意義の理解・普及を目的として、第6回いのちと献血俳句コンテストを主催しました。俳句の募集を平成23年6月15日から10月15日まで行い、厳正なる審査の結果、受賞作品が決定しました。

鳥取県表彰作品

●血液センター所長賞(鳥取県)

米子市立就将小学校第3学年 澤 優人さん

「うちわもち けんけつしゃへと ははいそぐ」



【血液センター所長賞表彰の様子】

●小学校高学年の部 入選(鳥取県)

鳥取市立中ノ郷小学校第4学年 國武 萌樺さん

「にぎりあう いのちといのち もみじの手」

●一般の部 入選(鳥取県)

門脇 かずおさん

「献血の 帰りを待つて ゐる新茶」

●団体賞 小学校の部 鳥取市立美保小学校

●団体賞 中学校の部 鳥取市立中ノ郷中学校

入賞者の皆様おめでとうございます。

たくさんの方のご応募ありがとうございました。



本年も、よろしく願いいたします。

日本赤十字社鳥取県支部・鳥取赤十字病院・鳥取県赤十字血液センター